

令和2年5月11日

杉並 区長
田中 良 様

杉並区議会公明党
幹事長 渡辺 富士雄

緊急事態宣言の延長に伴う区諸施策に関する緊急要望

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が5月31日まで延長されました。一部区内の地域医療現場が疲弊・混乱している実態があること、また、学校、出産・育児、障害者の生活等、区民の暮らしに広く影響が及んでいることが懸念されます。ついては、区の諸施策に関して以下の点について緊急対応を要望いたします。

記

1. 地域医療を担う病院・診療所等への支援強化

- ◆ マスク、フェイスシールド、防護服、消毒液等の衛生物資が不足している実態を把握し、早急に適切な対応を行うこと。
- ◆ 相談窓口で自宅での経過観察と告げられた発熱等での外来受診者の実態把握を行うこと。

2. 小中学校オンライン授業に向けた取り組みの加速

- ◆ 1人1台のタブレット端末の整備を急ぐこと。
- ◆ 各家庭のネット環境、ICT 機器保有状況の把握を行うこと。
- ◆ 教員への専門知識の習得等、オンライン学習支援体制の構築を進めること。

3. 区立小中学校におけるトイレ手洗いの自動水栓の早急な設置

学校の再開に伴い、児童・生徒を介した感染拡大を防止するため、早急に設置を行うこと。

4. 産後ケア支援の強化

新型コロナ禍で里帰り出産が困難になった産婦が増えていることから、産後ケア施設の利用需要の実態を把握するとともに、利用できない産婦が存在している場合、早急に対策を講じること。

5. 子どもの定期予防接種依頼書の期間猶予措置

里帰り出産等により、定期予防接種を区の契約医療機関以外で接種した場合の費用助成について、現行制度では、“令和2年6月1日以降の接種分”から適用となっているのを、“令和2年1月以降”に改め、遡及して助成対象とすること。

6. 保育園休園に伴うベビーシッターの活用【再要望】

休園した保育所等の利用児童の保育が必要な場合の対応として、東京都の「ベビーシッター利用支援事業(区市町村認可居宅訪問型保育事業)」を活用し、幅広い保育支援メニューを提供すること。

7. 障害者支援の施策強化

- ◆ 移動支援事業所を含む障害福祉サービス等事業所に対し、引き続き人員基準や報酬等に関する臨時的取扱を柔軟に行うとともに、就労支援事業の工賃確保や個別の相談に迅速かつ丁寧に対応すること。
- ◆ 障害者利用施設・訪問支援者等に、マスクや消毒液など衛生物資を十分に提供すること。

8. 介護者等が感染した場合の支援

家族介護者等が感染した場合に備え、在宅障害者(児)や高齢者、子どもの居場所と介護者の確保のための対策を講じること。

9. 雇用調整助成金の申請手続きに対する支援

国の雇用調整助成金については、その申請手続きに膨大な事務負担がかかるため、事業者が社会保険労務士に代行を依頼する場合、その代行費用に対して区が助成等の支援を行うこと。

10. 区としての「出口戦略」に向けた取り組みの検討

区として感染収束の見通しや学校を含む区施設利用制限等の対策解除に向けた「出口戦略」についての検討を行い、区民に情報発信を行うこと。

以上